

第2章 目指す地域の姿

1 農業者の経営能力を生かした競争力の高い農業の実現

- (1) 認定農業者など地域の担い手や法人が都市部にある立地条件を最大限に生かして、効率的で安定した農業経営を展開しています。
- (2) 農業経営体の法人化が進むことで安定した雇用の場が確保され、新規就農希望者や、県農業大学校等で農業教育を受けた学生等に対する、多様な就職・就農の機会が広がっています。
- (3) これまで地域農業を支えてきた農業者に加え、女性や若者、高齢者、企業など、多様な人材や主体が活躍しています。地域の農業を支える担い手の層が広がっています。

2 地域の特性に応じた、収益性が高く安定的な農業経営を目指す、持続性の高い農業の実現

- (1) 基盤整備が進み大区画化されたほ場では農地中間管理事業の活用により意欲ある担い手への農地の集積が進展し、効率的で生産性の高い農業が行われています。
- (2) こまつな・えだまめなどの地域を代表する野菜の作付拡大に加え、なし・ぶどう・キウイフルーツなど特産果樹の生産が安定的に維持され、農地の遊休化が防がれています。
- (3) 先端技術を取り入れたスマート農業技術の導入が着実に進み、生産性向上と経営の安定化が両立した農業が展開されています。
- (4) 自然災害に備えた農業関連施設の強靱化や、鳥獣害・病虫害防止対策の充実、さらに高温による影響を軽減するための技術や設備の導入が進み、持続可能で安定した農業生産が行われています。
- (5) 農業保険などセーフティネットの普及・拡大により、農業経営のリスクへの備えが強化され、農業者が安心して生産活動に取り組める環境が整えられています。



大区画に整備したほ場



地域を代表する野菜（こまつな）

3 多面的機能が適切かつ十分に発揮される農業及び農山村の実現

- (1) 農地や農業水利施設を維持・保全するための地域の共同活動が活発に行われ、防災・減災、生物多様性の保全、景観形成などの多面的機能が十分に発揮されています。
- (2) 農村のコミュニティが維持されるとともに、農業体験の場の提供などを通じて地域住民同士や都市と農村との交流が活発化し、教育の場としての役割、文化の伝承、保健休養、やすらぎの提供など、多様な機能が十分に発揮されています。



見沼代用水（原形保全区間）



農業者・住民による草刈り活動

4 需要に対応し、消費者に信頼される良質かつ安全な農産物を安定供給できる農業の実現

- (1) 高温対策技術の普及などにより、品質と収量の安定化が図られています。さらに、先進技術の活用による生産性向上や経営の安定化に向けた取組も進んでいます。こうした生産体制の強化を背景として、JAを通じた系統出荷のほか、地域内の直売所やインショップなど多様なチャネルで販売が行われています。
- (2) 優良品種・特徴ある品種を導入し、実需者ニーズに応じた商品開発や販路開拓に取り組むことで、生産性の向上とブランド力の強化が進み、産地としての競争力が高まっています。
- (3) 大消費地に近く食品製造業が盛んな北足立地域の立地優位性を生かしながら、農商工連携や6次産業化の取組が進むことで、高付加価値化につながる新たな加工品や地域特産物が創出されています。
- (4) 地元直売所や県内量販店の地場産コーナー、飲食店、学校給食など多様な場面で地域の農産物が提供され、県民が日常的に県産品に触れる機会が広がったことで、地産地消の取組が一層浸透しています。
- (5) 農業者の環境負荷低減への取組に加え、農薬の適正使用や衛生管理、関係法令に基づく適正な生産・流通管理により、地域の農産物の品質と安全性に対する消費者の信頼が一層向上しています。



彩り豊かなヨーロッパ野菜



地元客で賑わう直売所

5 森林を将来に受け継いでいくための「活樹」の実現

- (1) 「第75回全国植樹祭」で発信した森林資源の活用や木材の利用拡大を図る「活樹」への理解が醸成されています。
- (2) 県産木材の安定的な供給体制が整備され、民間住宅や公共施設、民間非住宅建築物の木造化が進み「活樹」が推進されています。
- (3) 快適な生活環境を形成・維持するため、都市及び近郊の平地林が良好な状態に維持されています。